

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査

J-ASPECT study (Nationwide survey of Acute Stroke care capacity for Proper designation of Comprehensive stroke Center in Japan)

〔研究機関名〕 聖隷三方原病院

〔研究機関の長〕 山本貴道

〔研究責任者〕 釧持博昭（脳神経外科・医師）

〔研究の概要〕

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：2022年1月11日～2026年3月31日

目的：今回の研究では、救急搬送を含む入院から退院までの一貫した脳卒中および脳神経外科および共通のリスクを有する循環器病（急性心筋梗塞、急性心不全、大動脈解離など）治療に関する大規模データベースを構築し、その実用性、妥当性の検証を行うことを目的とする。

方法：DPCデータ、レセプトデータ（医療保険のデータ）およびカルテ記録を用いた研究

■ 対象となる患者さん

2010年4月～2025年12月の間に、脳卒中や脳神経外科分野の疾患で当院に入院および以後通院された方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：生年月（日）あるいは年齢、性別、自宅郵便番号（研究利用前に事務局において下4桁の削除）、発症年月日、入院年月日、入院経路：救急車による搬送、他院よりの紹介、入院前modified Rankin Scale(mRS)スコア、画像診断〔MRI、MRA、CT、脳血管造影、頸動脈超音波検査〕、DPCに反映されている基礎疾患（高血圧、糖尿病、脂質異常症、他臓器の腫瘍など）および合併症、該当疾患に対する治療内容、リハビリテーションの有無、脳卒中・脳神経外科疾患・循環器病関連の診療にかかわる治療内容（投薬内容、開頭手術やカテーテル治療など）、退院年月日、退院先、入院中の看護必要度、退院サマリー・看護サマリー・診療情報提供書・診療記事・看護記録等

■ 外部への試料・情報の提供

取得された診療情報を業務委託先である健康保険医療情報総合研究所（PRRISM）で集積し、必要な情報を抽出した解析用データセットを作成します。

①データ解析のため、データベースにアクセスする担当者および所属

有村公一、下川能史 九州大学 脳神経外科

西村中 九州医療センター 脳神経外科

黒木亮太 福岡徳洲会病院 脳神経外科

黒木愛 福岡市立こども病院 脳神経外科

嘉田晃子 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター

松本省二 藤田医科大学 脳卒中科

竹上未紗 東京大学 医学部・医学系研究科 公衆衛生学分野

賀未泰之 熊本大学病院 脳神経外科

福田仁 高知大学 医学部 脳神経外科

丸山大輔 京都府立医科大学 脳神経外科

松重俊憲 広島市立安佐市民病院 脳神経外科

板谷智也 宮崎大学 生活・基盤看護科学講座 教授

平和也 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻予防看護分野

田中晴佳 神戸市看護大学 健康生活看護学領域 精神看護学分野 准教授

小橋昌司 兵庫県立大学 先端医療工学研究所長

②業務委託

健康保険医療情報総合研究所 (PRRISM) 代表取締役社長 山口治紀

■ 研究組織

【研究代表者（統括責任者）】飯原弘二 国立循環器病研究センター 病院長

【研究事務局】国立循環器病研究センター 脳卒中・循環器病次世代医療研究部 連乃駿

連絡先： 06-6170-1070(代表)

【業務委託】健康保険医療情報総合研究所 (PRRISM)

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

釧持博昭、脳神経外科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971